

第98期 株主のみなさまへ

2021年4月1日～2022年3月31日



Contents

トップメッセージ	01
【特集】WakuWaku Explosion 2030	
“ワクワクする未来”に挑戦する会社へ	03
セグメント別営業の概況	05
当社を支える基盤事業	05
持続可能な社会の実現に向けて	07
働きがいを感じる職場環境づくりを目指して	09
財務ハイライト(連結)	10
会社概要／株式の概況	裏表紙

株主様アンケートの
お願い





代表取締役社長

植田 孝憲

“ワクワクする未来”に挑戦する会社を作り上げてまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまわり、厚くお礼申し上げます。2022年3月31日をもって、当社第98期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

2022年6月

社 是

企業を通じて
よりよい社会を
建設しよう

当期における業績について

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進み経済活動正常化の動きが見られましたが、年末以降感染が再拡大し個人消費は一進一退の状況となりました。また、輸出は増加基調に陰りが見られ、インバウンド需要も引き続き低迷する等依然として厳しい状況が続いています。世界経済は、中国の景気拡大に頭打ち感が見られる上、経済活動の正常化を背景に景気が回復基調にある米国・欧州もロシアによるウクライナ侵攻を受け先行き不透明な状況となりました。

化学業界におきましては、為替相場は米国の利上げ観測等により足元で急激に円安が進み、原料価格は需要回復に対し供給が追いつかず上昇基調にあるなか、地政学リスクの顕在化により更に値上がりする等、事業環境は

予断を許さない状況にあります。

このような環境下における当期の売上高は1,625億2千6百万円(前期比12.3%増)となりました。利益面では、営業利益は118億6千8百万円(前期比0.5%減)、経常利益は為替差益の増加等により127億7千1百万円(前期比6.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券評価損の計上等により66億9千9百万円(前期比8.0%減)となりました。

当社は、連結配当性向30%以上をめどに、中長期的な配当水準の向上を目指しております。期末配当金につきましては、昨年12月に実施いたしました中間配当金と同じく、1株当たり85円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は、1株当たり170円となります。

2030年のありたい姿に向けた経営方針

2022年3月、当社グループは、さらなる持続的成長に向けて、2030年のありたい姿を定め、そのありたい姿に向けた経営方針として「WakuWaku Explosion 2030」を策定しました。

議論の過程で、決められた数値目標を達成するための定型業務に励むことよりも、全ての従業員が行動変容を起こし、モチベーション高く活躍することで企業が成長していくという考えに至り、数値目標中心のイメージが強い“中期経営計画”という表現ではなく、中長期の“経営方針”

とし、本経営方針を端的に表現したロゴも合わせて策定しまし



た。赤色の人型モチーフは“ワクワクする未来”を目指しての高揚感、期待感を表現し、さらに、界面制御技術を活用して化学の枠を超えたイノベーションを起こす、という強い想いを「Interface Innovator」に込めています。

本経営方針につきましては、特集(p.03～04)をご覧ください。

株主のみなさまへ

株主のみなさまからの声を当社の企業価値向上に活かすため、今年度から株主様アンケートを実施いたします。当社の経営へのご意見や本冊子に関するご感想等、是非お寄せください。(ご回答方法につきましては、本冊子の裏表紙をご覧ください。)

当社は、社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」の実現に向けて邁進し、その結果としてステークホルダーのみなさまへの還元を充実させてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

特集



WakuWaku Explosion 2030

“ワクワクする未来”に挑戦する会社へ

2022年3月に発表した2030年のありたい姿に向けた経営方針「WakuWaku Explosion 2030」をご紹介します。

- 当社グループのスローガンを「変える。」から「WakuWaku」へ刷新し、不連続な成長を目指すという強い想いを「Explosion」という言葉に込めました
- ありたい姿として、Mission、Values、Visionを新たに策定しました

Sanyoのありたい姿 (Mission、Values、Vision)

社是 企業を通じてよりよい社会を建設しよう

(Mission) 実現したい社会 ● 環境と調和した循環型社会 ● 健康・安心にくらせる社会 ● 一人ひとりがかがやく社会

Sanyoの貢献



Values

- すべてのステークホルダーのワクワク
- 環境・社会的価値と経済価値をステークホルダーと共創*
- 社員一人ひとりが価値の創出に貢献

*) 共創：全ステークホルダーと共に価値を築き上げていく

Vision

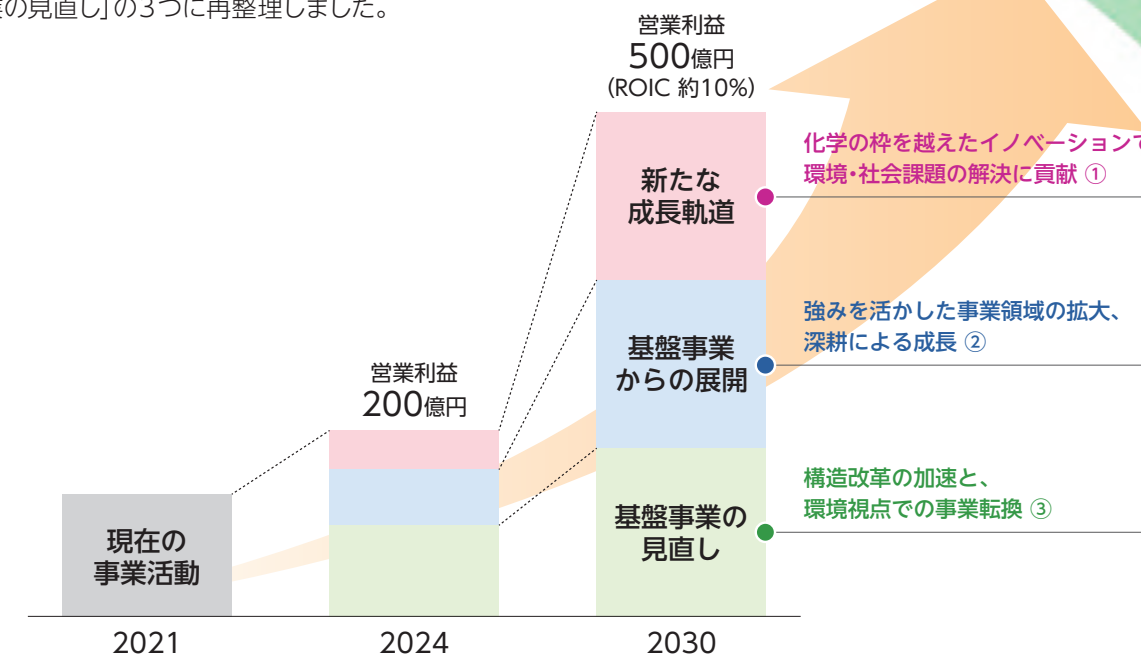
全従業員が誇りをもち、働きがいを感じる
グローバルでユニークな高収益企業に成長する



多様な一人ひとりの新しい発想を源泉に、当社と全ステークホルダーの「ちから」を掛け合わせ、スピード感ある挑戦を実行し続けることで化学の枠を越えてイノベーションを起こす

変革によって目指す姿

2030年のありたい姿に基づいて、事業活動を、「新たな成長軌道」、「基盤事業からの展開」、「基盤事業の見直し」の3つに再整理しました。



- ① 強みを生かしたCO₂回収・利用・貯蔵、エネルギーマネジメント、匂いセンサー、ペプチド農業等での新たな価値創出 (p.07～08にトピックス記載)
- ② 強みある基盤事業の環境・社会課題視点での事業展開等 (p.05～06にトピックス記載)
- ③ グローバル全拠点での競争力強化、環境負荷が高く不採算な事業の体制見直しや撤退等

変革を支える活動

不確実な経営環境の中、よりよい社会への貢献を通じて、当社グループ自身も持続的に成長を遂げるべく、ありたい姿の実現に向けたサステナビリティ視点での取り組みを強化してまいります。また、従業員一人ひとりがワクワクできる会社を実現していくことが、ありたい姿に向けた変革を支える重要な活動と考え、スローガンとして「全部署がプロフィットセンター」を策定しました。本経営方針の推進によって当社グループの企業価値向上を図りながら、ステークホルダーのみなさまへの還元を充実させてまいります。

全部署がプロフィットセンター

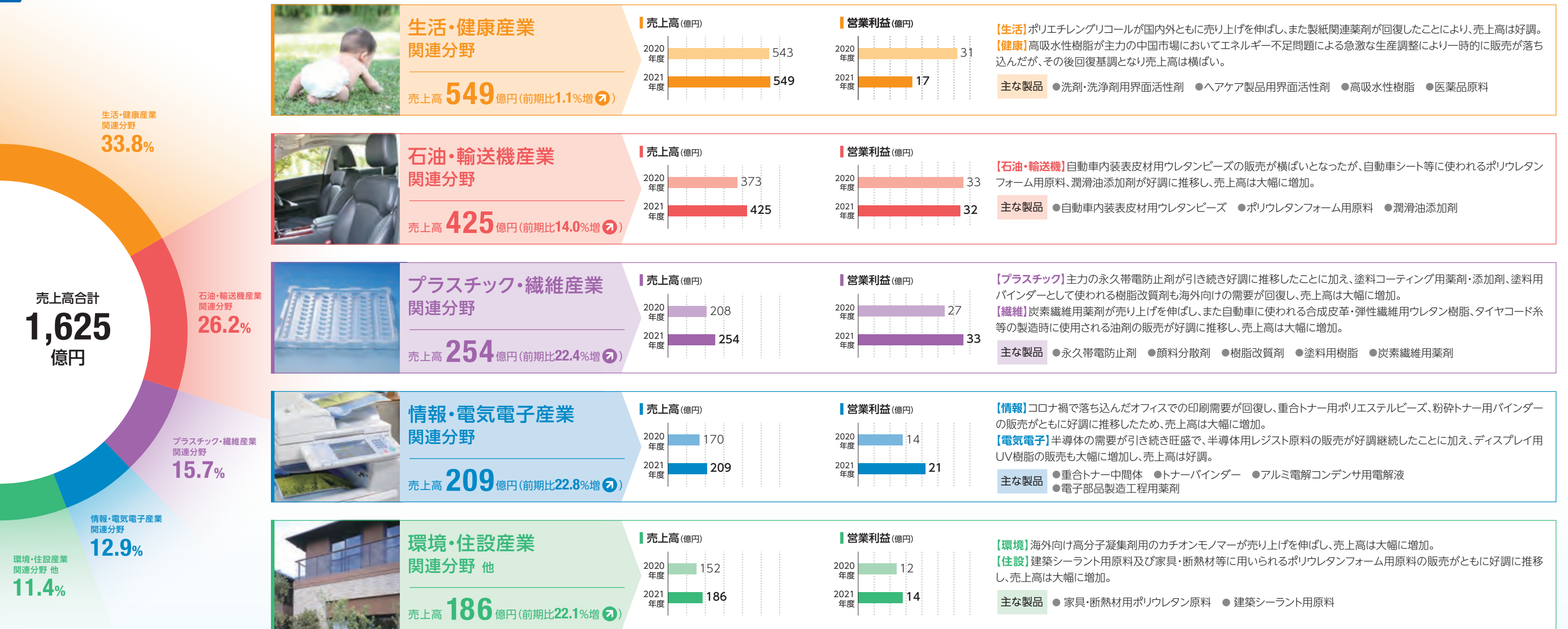
- Sanyo Groupの従業員一人ひとりが主役
- 全員にスポットライトを当て、ワクワクする業務を推進



サステナビリティへの取り組み等、詳細な説明を当社ホームページに記載しています。



セグメント別営業の概況



当社を支える基盤事業

自動車の省燃費性能を向上し、環境負荷低減に貢献

潤滑油添加剤



当社の潤滑油添加剤は、温度による潤滑油の粘度変化を小さくすることで自動車の燃料消費を抑え、環境負荷の低減に役立っており、国内外で幅広く使用いただいています。

脱炭素化に向けた動きが高まりつつあり、エンジン車から電気自動車や各種ハイブリッド車への需要シフトが加速していますが、駆動系油向けや交換需要を中心に当社の潤滑油添加剤のニーズは継続、拡大します。

当社は、国内でのニーズに対応するとともに、グローバル生産拠点を生かして、特にアジア地域での拡販にも注力していきます。

様々な使用環境に合わせた潤滑油添加剤を開発し、環境負荷低減に貢献してまいります。

より快適な空間、より快適な睡眠を提供

ポリウレタンフォーム用原料



ポリウレタンフォームは、自動車シート、マットレスや枕等の寝具、住宅の断熱材等、様々な分野で使用されています。

当社のポリウレタンフォーム用原料は、振動低減や姿勢維持に優れた自動車シートに使われ、自動車の乗り心地向上に役立っています。また、通気性が良く、低温時に硬くならない低反発マットレスにも使われており、快適な睡眠の提供に役立っています。

長年培ってきた当社独自の技術に加え、他社とのアライアンスを活用して、より快適な空間、より快適な睡眠を提供し、人々のQOL向上に貢献してまいります。

持続可能な社会の実現に向けて

当社は、社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」のもと、社会的価値と経済的価値の創出を両立し、環境や社会と調和しながら持続的に成長することを目指しています。

脱炭素社会の実現を目指して

CO₂排出の削減目標

- ① 2030年 50%削減（2013年度比）
2050年 実質ゼロ（カーボンニュートラル）
- ② サプライチェーンを通じた排出の削減
- ③ 当社製品による削減貢献

当社は、脱炭素社会の実現を重要な経営課題の1つとして捉え、省エネ推進等の環境活動計画(S-TEC活動)に加え、CO₂の分離回収技術の開発等を進めています。CO₂排出削減をさらに推進するため、2021年12月、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言への賛同を表明しました。

今後、気候変動におけるリスクと機会が当社事業に与える影響に関して計画的に分析・検討を進めていきます。

エネルギーマネジメントによる貢献

当社は、全樹脂電池の主要部材である被覆活物質や風力発電等に使用される炭素繊維用樹脂の開発を通して、再生可能エネルギーの普及を目指しています。

また、省エネへの貢献として期待度が高く、電力損失が少ない次世代半導体を用いたデバイスの開発・製造を手掛ける株式会社FLOSFIAとの協業を進める等、幅広い視点から環境・社会課題に応えてまいります。



「匂いセンサー」による新たなソリューション提供を目指して



匂いセンサーの試作機

「匂いセンサー」とは

匂いセンサーとは、特定の匂いを識別し、定量化するデジタル嗅覚技術です。分析時間が短く、持ち運びが可能であり、数多くの匂いの全体像を表現できることが特長です。

人間の嗅覚細胞に相当する検出器(プローブ)に香り分子が吸着することにより匂いを検知し、数多くの匂い成分を学習したAIが匂いの香り分子の組み合わせパターンを検出します。

プローブには、当社が得意とする界面制御技術を活用した樹脂材料(匂い検出素子)を搭載し、独自の組成設計に基づき多種の樹脂材料を組み込むことにより高精度に匂いを識別します。

「匂いセンサー」の事業化に向けて

当社は、匂いセンサーの早期事業化のため、「デジタル嗅覚事業創造部」を新設しました。

今後、日本酒の品質管理や新商品開発への活用を皮切りに、食品・医療・香粧品分野での応用や工場での環境対応等、多様なニーズに応えてまいります。

持続可能な農業を目指して

農業危機課題の解決に向けて

当社は、世界的な農業危機課題を背景に、化学肥料や農薬に頼らない農業による安心安全な食の安定供給・脱炭素、水・土壤汚染の低減に向けた取り組みを進めています。

2021年9月、当社と株式会社ファームフーズは、「アグリ・ニュートリション基本計画」を策定しました。

まずは、宮崎県新富町に設立した試験研究用ハウス施設等を利用し、きゅうりの生育促進やブドウにおける機能性成分量の向上の実証検討を行っていきます。

「アグリ・ニュートリション基本計画」

以下の取り組みを行ってまいります。

- ① バイオスティミュラントによる農産物の収量、品質、耐性向上
- ② 界面制御技術によるバイオスティミュラントの散布効率の最大化
- ③ 有用加工技術による農産物の未利用部位の高付加価値化

What's

バイオスティミュラントとは

植物に対する悪天候や干害といった非生物的ストレスを制御することで植物のダメージを軽減し、農産物の収量、品質、耐性向上等を図る物質の総称。

様々な種類がある中で、
当社はペプチド(アミノ酸が複数結合したもの)に注目

ココがPOINT



ココがWakuWaku 三洋化成
働きがいを感じる
職場環境づくりを目指して

全従業員にスポットライトを当て、
一人ひとりがかがやき、達成感を
味わえるような会社へ

当社は、全従業員が自分らしさを大切にしながら、安心して働くことができる会社を目指し、働き方改革や、全ての
人権や多様な価値観を尊重し活躍してもらう職場環境の実現に向けたDEI*推進の取り組みを進めてきており、
「プラチナくるみん」、「プライド指標」のゴールド等を取得しています。

*Diversity=多様性、Equity=公平性、Inclusion=受容、を意味します

DEI (Diversity, Equity & Inclusion) 推進の取り組み

●「イクボス企業同盟」に加盟

当社は、従業員の仕事と
育児の両立を会社全体で
支援するため、イクボス宣言を
するとともに、イクボス企業同盟に加盟しました。



What's イクボスとは

- 「育児」と「ボス」を組み合わせた造語
- 職場で共に働く部下の仕事と育児を応援し、
自らもそれを実践している管理職のこと

●毎年12月を「ダイバーシティ月間」と制定

当社グループの全役員や全従業員のさらなる意識改革
を目的に、人権週間(毎年12月4日～10日)に合わせ、
2021年度から毎年12月を「ダイバーシティ月間」に制定

し、セミナーやイベントを実施しています。従業員一人ひと
りが自分らしく活躍できる会社づくりの大切さを、改め
て考える機会となっています。

●「えるぼし」最高位の 3つ星認定を取得

当社の女性活躍推進状
況が優良であると認められ、
厚生労働省より、「えるぼし」
3つ星(最高位)の認定を受
けました。



えるぼし認定の評価項目

- ① 採用
- ② 継続就業
- ③ 労働時間等の働き方
- ④ 管理職比率
- ⑤ 多様なキャリアコース

オフィスで変化を楽しもう! ～東京事業所を移転～

当社は、2022年3月22日に東京事業所を東京都中央
区から東京都港区に移転しました。

新しい事業所では、「ヒト中心の働き方」、さらに「偶発的
なコミュニケーションの促進」をアシストするため、業務内
容や気分に合わせて、働く人が自由に最適な場所を選択
する働き方を進めています。

部門間、関係会社間の垣根を越えたコミュニケーショ
ンの活性化により新たな発想が生まれる場となることを
目指してまいります。

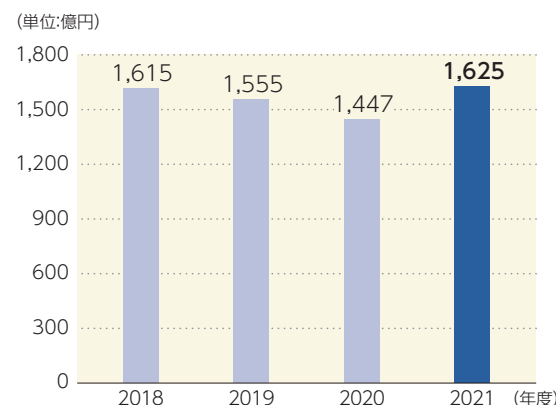
オフィスで変化を楽しもう!

～さあ、今日はどんな働きをしますか?～

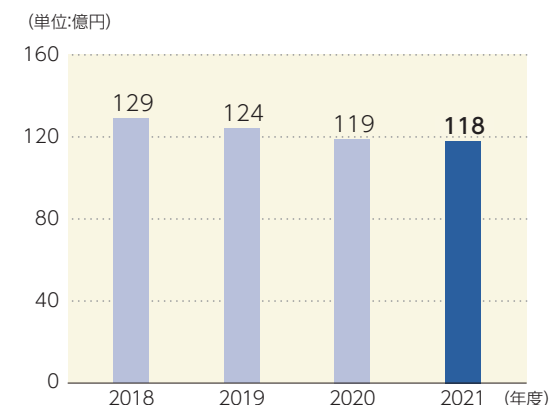


財務ハイライト (連結)

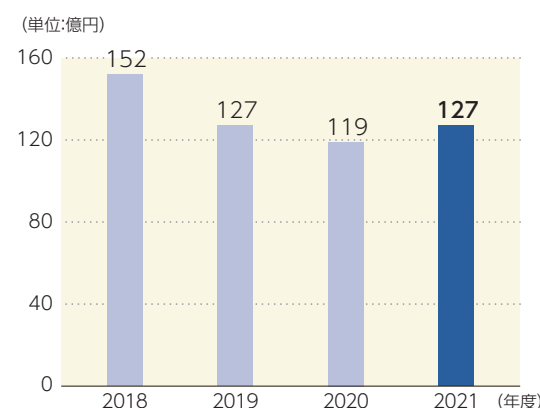
売上高の推移



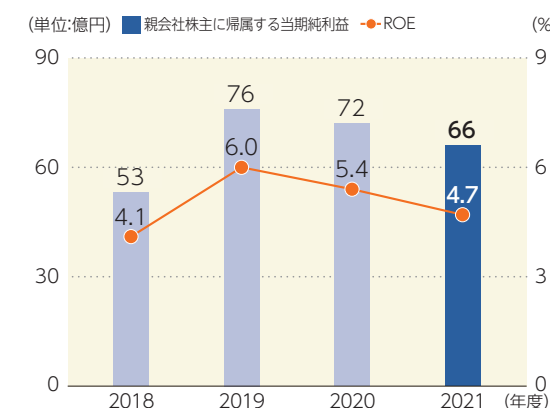
営業利益の推移



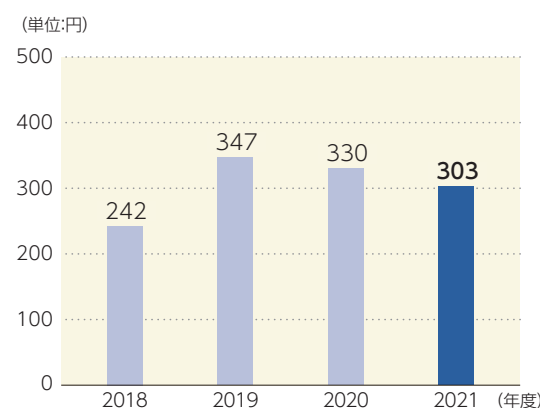
経常利益の推移



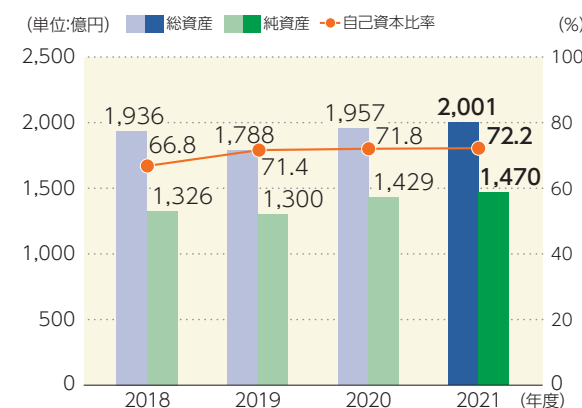
親会社株主に帰属する当期純利益・ROEの推移



1株当たり当期純利益の推移



総資産・純資産・自己資本比率の推移



三洋化成IR情報の
ご案内

詳しい財務データは、
当社ホームページのIRライブラリーをご覧ください
https://www.sanyo-chemical.co.jp/ir_info/result

三洋化成 IR 検索



会社概要／株式の概況

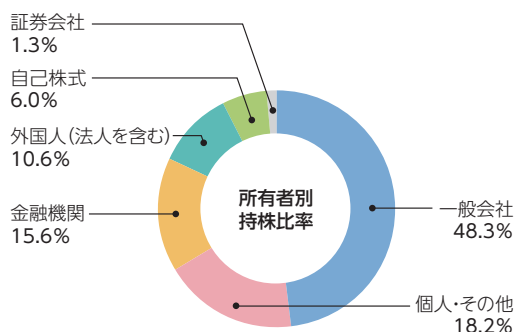
概況 (2022年3月31日現在)

創 立 1949年11月1日
資 本 金 13,051,179,427円
従業員数 1,350名 (連結2,106名)
関係会社 国内9社、海外14社

株式総数及び株主数 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 51,591,200株
発行済株式総数 23,534,752株
株 主 数 11,051名

株主構成 (2022年3月31日現在)



大株主

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
豊田通商株式会社	4,286	19.4
東レ株式会社	3,826	17.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,173	9.8
株式会社日本触媒	1,105	5.0
ENEOSホールディングス株式会社	1,061	4.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	915	4.1
三洋化成従業員持株会	538	2.4
GOVERNMENT OF NORWAY	323	1.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	207	0.9
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	172	0.8

(注) 1. 上記のほかに、自己株式1,418千株があります。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

役員 (2022年6月17日現在)

取締役 会長	安藤 孝夫	専務執行役員	鶴田 博之
代表取締役 社長 兼執行役員 社長	樋口 章憲	常務執行役員	藤井 雄一
代表取締役 兼執行役員 副社長	前田 浩平	常務執行役員	須崎 裕之
取締役 兼常務執行役員	下南 裕之	常務執行役員	奥 喜之
取締役 兼常務執行役員	原田 正大	執行役員	福井 正弘
取締役 兼執行役員	西村 健一	執行役員	土屋 稔
社外取締役	白井 文	執行役員	楡 康治
社外取締役	小畑 英明	執行役員	宮脇 基寿
社外取締役	佐野 由美	執行役員	中野 達也
社外監査役(常勤)	黒目 泰一	執行役員	竹内 昌
監査役(常勤)	堀家 尚文	執行役員	山本 祐介
社外監査役	加留部 淳		
社外監査役	中野 雄介		

(注) 当社は、白井 文氏、小畑英明氏、佐野由美氏、中野雄介氏を東京証券取引所の定めに基づき独立役員として指定し、届け出ております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 期末配当基準日 3月31日
 中間配当基準日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 (電話照会先 郵便物送付先)
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
 及び全国各支店で行っております。
 公 告 掲 載 当社ホームページ
<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>
 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場(コード番号 4471)

株主様アンケートのお願い (所要時間:約5分)

当社の情報提供に関して、皆様のご意見・ご感想を是非お聞かせください。頂いたご意見は集計のうえ、後日当社ホームページで回答いたします。



■ ご回答方法

- ① スマートフォン … カメラで上記QRコードを読み取ってください。
- ② パソコン … アドレスバーに下記アドレスを直接入力ください。
<https://forms.office.com/r/rZ7Uw40LLh>

■ ご回答期限 2022年7月29日(金)



プラチナくるみん

「子育てサポート企業」として厚生労働省より「くるみん」の認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業が受けられるもの。



PRIDE指標

LGBTQ等に関する取り組みを評価する指標で、任意団体「work with Pride」によって策定されたもの。



健康経営優良法人 ホワイト500

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度。



レスポンシブル・ケア®

化学品の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至る全ての過程において、環境・健康・安全を確保し、その成果を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行う自主活動。